

# NRIだより

証券コード：4307

株主の皆様へ	1
連結業績ハイライト	3
2021年3月期 1年間のトピックス	4
2021年3月期の主な取組み	6
お知らせ／株主メモ	8

2021年3月期 決算のご報告  
[2020年4月1日～2021年3月31日]

## 株主の皆様へ



## 2021年3月期は売上高、営業利益ともに 過去最高を達成しました。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年3月期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う世界経済の悪化懸念から、先行きが不透明な状況が続きました。景気後退に伴う企業の業績悪化により投資需要が鈍化する懸念があったものの、情報システム投資については、デジタル技術を活用したビジネスプロセス及びビジネスモデルの変革を行うDX(デジタルトランスフォーメーション)を中心に企業の投資需要が高まりました。

2019年4月に策定した「中期経営計画(2019-2022)」では、DX戦略、グローバル戦略、人材・リソース戦略を3つの成長戦略として掲げています。

2021年3月期は、DX戦略において、お客様のデジタ

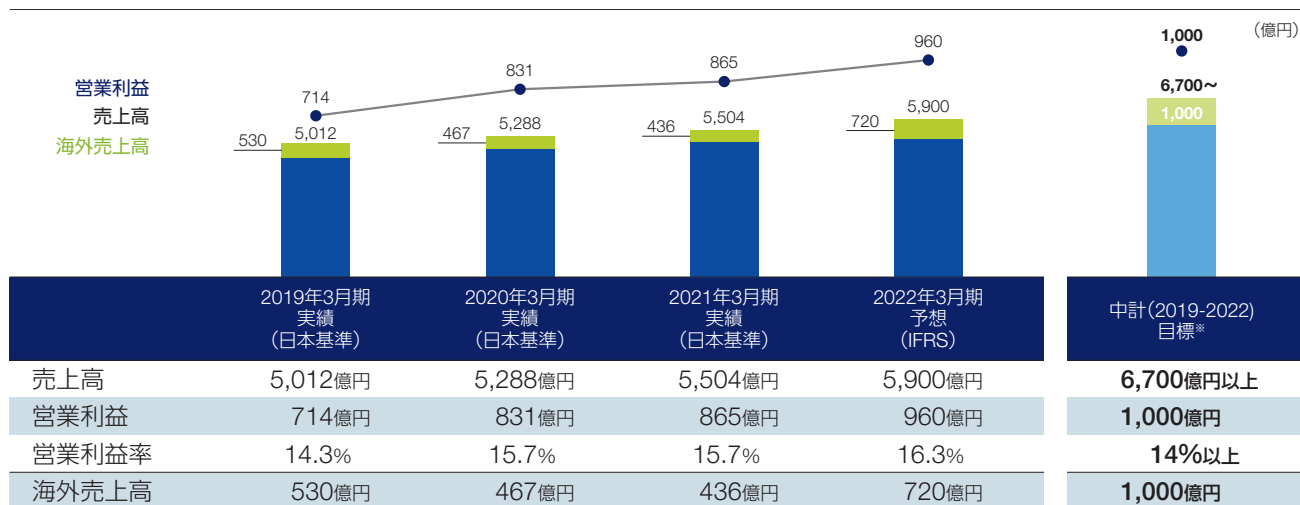
ル化への取組みの拡大を受け、DXビジネスが大きく拡大しました。また、DXビジネスの拡大にあたっては、生産性向上や高付加価値を実現するための技術の開発も順調に進展しました。さらに、証券会社向けの共同利用型サービスの導入案件も順調に進捗しました。

グローバル戦略では、豪州における事業領域を拡大するため、2つの現地企業の買収を決定しました。豪州を中心に成長が見込まれる海外のIT市場において、外部成長を軸とした事業基盤の強化を進めています。

人材・リソース戦略では、デジタル時代を支える人材の採用と育成を継続的に進めるとともに、ダイバーシティや多様な働き方の推進に力を入れています。

このような取組みの結果、2021年3月期の売上高は5,504億円(前期比4.1%増)、営業利益は865億円

## 連結業績及び中期経営計画目標



※2019年4月25日公表

(同4.0%増)といずれも過去最高を更新しました。

「中期経営計画(2019-2022)」では、「価値共創を通じた社会課題の解決」としてCSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)への取組みを掲げています。2021年3月期には、コロナ禍におけるパート・アルバイトの就業問題などポストコロナの社会のあり方に向けた提言や、マイナンバーカードを活用した手続きサービスの向上など社会インフラの高度化に貢献する取組みを実施しました。また、2050年の温室効果ガス排出ゼロ社会に向けて、共同利用型サービスの利用拡大を含め様々な施策に取り組んでいます。こうした取組みを通じて、NRIグループの持続的成長と持続可能な未来社会づくりを両立させる「サステナビリティ経営」を進めてまいります。

### 中期経営計画(2019-2022)の目標達成に向け取組みを加速します

2022年3月期は中期経営計画の3年目にあたります。これまでの施策をさらに推進しながら、中期経営計画の目標達成に向けた取組みを加速させていきます。コンサルティングからシステム開発・運用まで一貫して提供できる総合力を強みに、お客様のDXへの取組みをさらに継続して支援します。また、グローバル事業の拡大に向けた事業基盤の一層の強化を進めます。

なお、財務情報を国際的に比較しやすくすることを主な目的に、2021年3月期の有価証券報告書から、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用します。IFRSのもの

とで算定した2022年3月期の連結業績予想は、売上高5,900億円、営業利益960億円となります。

中期経営計画で掲げた2023年3月期の連結業績目標である売上高6,700億円以上、営業利益1,000億円、海外売上高1,000億円については引き続き目指してまいります。

### 成長とともに、株主の皆様への還元を強化します

2021年3月期は、普通配当を1株につき年間36円(第2四半期末17円、期末19円)とし、前期の配当金から4円増額しました。2022年3月期はさらに2円増額し、年間38円とする予定であります。

また、自己株式については、これまで発行済株式総数の概ね5%程度を目安に保有してきましたが、資本効率の向上の観点から方針を変更し、今後は、用途が見込まれない自己株式は保有せず、適切な時期に消却することとしました。この方針変更に沿い、2021年3月期は、約3,079万株(消却前の発行済株式総数の4.8%)の自己株式を消却しました。今後も、成長と還元の両立を意識した資本政策を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

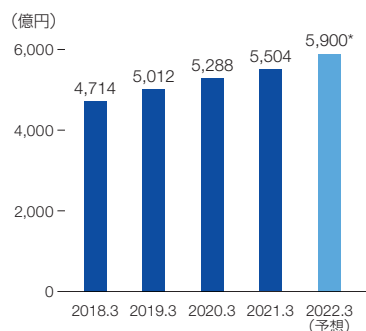
2021年5月  
代表取締役会長兼社長

此本 臣吾

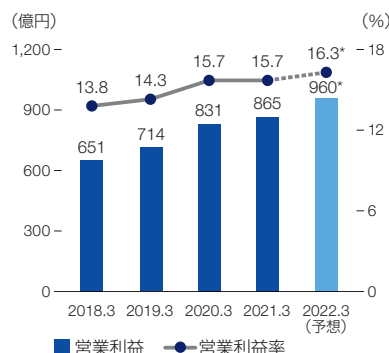
# 連結業績ハイライト

2021年3月期の有価証券報告書から、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用します。  
2022年3月期の業績予想値(下図の\*が付いた数値)はIFRSに基づき算定しています。

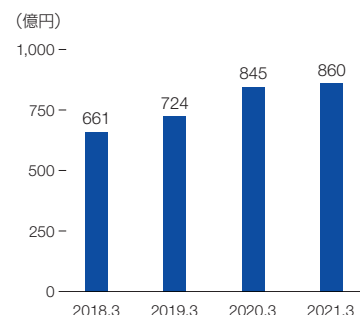
## 売上高



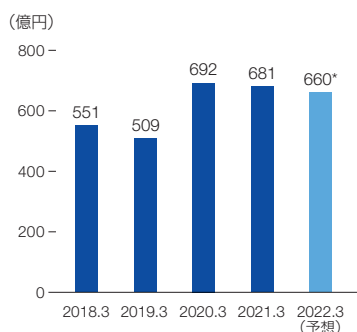
## 営業利益/営業利益率



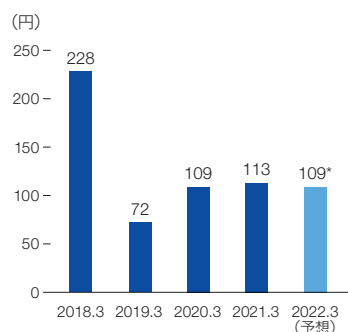
## 経常利益



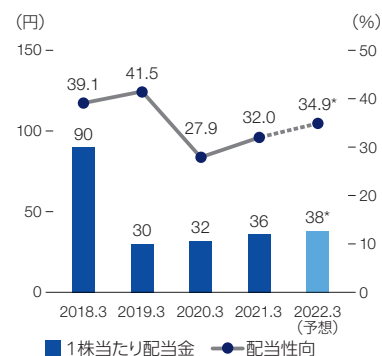
## 親会社株主に帰属する当期純利益



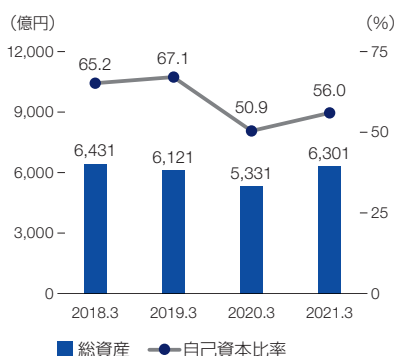
## 1株当たり当期純利益 (EPS)



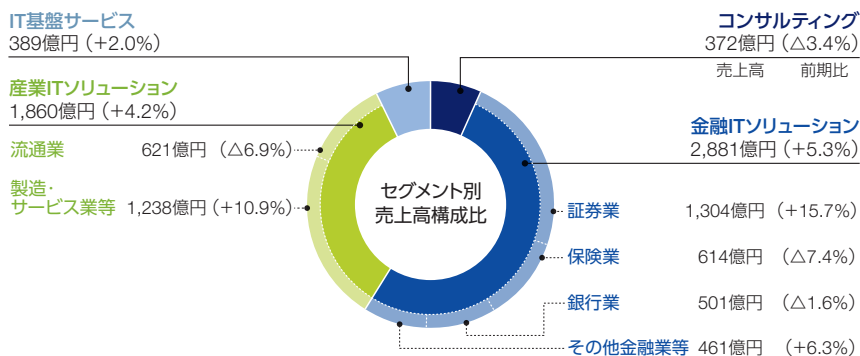
## 1株当たり配当金/配当性向



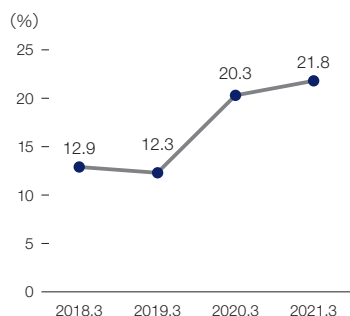
## 総資産/自己資本比率



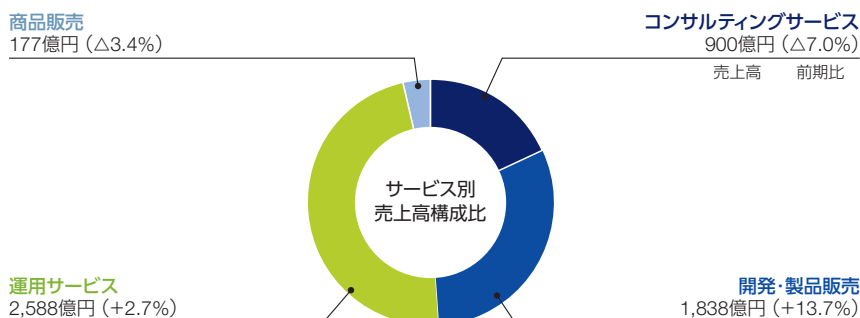
## セグメント別外部売上高 (前期比) (2021年3月期)



## ROE



## サービス別売上高 (前期比) (2021年3月期)



- 記載金額は、億円未満(1株当たり当期純利益(EPS)は円未満)を切捨てて表示しています。
- IFRSには経常利益の概念が無いため、2022年3月期の経常利益予想値は掲載しておりません。
- 2018年3月期の1株当たり当期純利益(EPS)及び1株当たり配当金は、株式分割(2019年7月1日付)を遡及修正していない数値を表示しています。
- 配当性向は、NRIグループ社員持株会専用信託に対する配当金を含めて計算しています。
- 総資産/自己資本比率については、2019年3月期において、会計基準の改正への対応等を実施しており、2018年3月期については遡及適用後の数値を表示しています。
- 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益及び配当金は、当該予想と異なる結果となる可能性があります。

2020年  
4月



## 豪州AUSIEX社の株式取得に向けた手続きを開始

成長が見込まれる豪州のウェルスマネジメント市場における事業基盤を強化するため、Australian Investment Exchange Limited (AUSIEX社)の子会社化に向けた手続きを開始しました。

# AUSIEX

5月



## 「Business Ambition for 1.5°C」に署名

今後の気温上昇を1.5℃に抑える目標を設定するよう企業に要請する共同書簡「Business Ambition for 1.5°C」に署名しました。

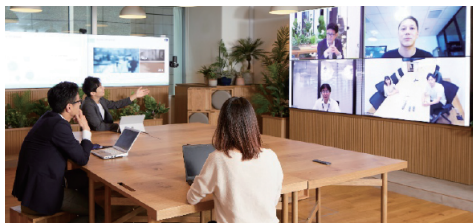


6月



## DXを支援する「NRI CODO」を提供開始

社内外の知見やリソースを取り入れながら、共創でDXを推進するためのサービス及び拠点です。



## オフィスでの3密を防止する「NRI AI Camera for Office」の提供を開始



マスクの着用有無や人の近接の状態をAIカメラが自動的に認識し、音声で注意を促します。

7月



## 有職者6.8万人にリモートワーク調査を実施

リモートワークの拡大に向けて、事務職・公務員の情報システム環境の改善がポイントになることが明らかになりました。



## 資生堂の旗艦店オープン、NRIデジタルが支援



オンラインとオフラインを融合させた新しい美容体験を創出する場が銀座にオープン。NRIデジタルはブランド体験を支える仕組みの構築などを支援しました。

9月



## マイナンバーカードを活用したサービスを強化

### e-私書箱

マイナンバーカードを活用して、本人確認や税務手続きを安全かつ便利に行うことができるサービスを提供しています。

[P.7ご参照](#)

10月



## 「NRI未来創発フォーラム2020」を開催



「新型コロナウイルスと経済社会のパラダイムシフト」と題し、東京国際フォーラム及びウェブによるライブ中継にて開催しました。

11月



## セキュリティ・ゼロトラストサービスを強化

NRIセキュアテクノロジーズが、ゼロトラスト(完全に信頼できるものは無いという考え方)に基づき、テレワークやクラウド環境のセキュリティ強化をコンサルティングします。



## 世界的なESG株式指数である「DJSI World」の構成銘柄に3年連続で選出

世界の主要企業の中から、持続可能性に優れた企業として高く評価されました。

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

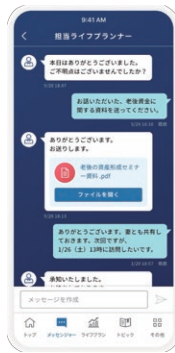


12月

金融ITソリューション

### ソニー生命と共同で「ソニー生命 アプリ」を開発

お客様はアプリの「メッセージャー」機能を用いて、担当のライフプランナーとチャット形式で安全に契約内容や手続きに関する相談・問い合わせを行うことができます。



2021年  
1月

IT基盤サービス

### 在宅コールセンターのためのデジタルプラットフォーム「CC@Home」を提供開始

従業員がコールセンターに出社することなく、自宅でコールセンター業務を行うことができるようになります。

2月

ESG

### 国際的な企業の持続可能性評価「Sustainability Award 2021」で初めて「シルバークラス」に選定

Sustainability Award  
Silver Class 2021

S&P Global

ESG

### 気候変動の取組みが評価され、最高評価「CDP Aリスト」に2年連続で選定



環境問題に関して世界で最も有益な情報を提供するCDPにより、温室効果ガス排出削減に向けた取組みが評価され、最高評価の「CDP Aリスト」に2年連続で選定されました。また、環境問題の取引先への働きかけが評価され、リーダー企業として「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」に認定されました。

ESG

### 温室効果ガス排出削減「1.5度目標」の認定を取得

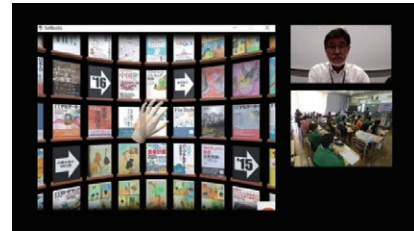
気温上昇を1.5℃に抑えるための新たな目標が、国際的な環境イニシアチブである「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」より認定されました。

P.6ご参照

ESG

### 「未来のIT教室」をオンライン開催

JFAこころのプロジェクトとの連携授業「未来のIT教室」を、群馬県みどり市の小学校でオンライン開催しました。



3月

コンサルティング

### パート・アルバイトの中で「実質的失業者」は、女性で103万人、男性で43万人と推計

P.7ご参照

ESG

### 「健康経営優良法人(ホワイト500)」に5年連続で認定



2021  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ホワイト500

経営

### 豪州Planit社の株式取得に向けた手続きを開始

オセアニア地域で最大規模のITテスト企業を取り込み、豪州での事業基盤強化を目指します。



経営

### 「NRIサステナビリティ・リンク・ボンド」を発行

温室効果ガス排出削減目標の達成を、投資家の皆様に応援していただく仕組みを採用しています。

P.6ご参照

ESG

### 女性活躍推進に優れた上場企業として、「なでしこ銘柄」に5年連続で選定



持続可能な未来社会の構築に向けたNRIの代表的な取組みをご紹介します。

取組み

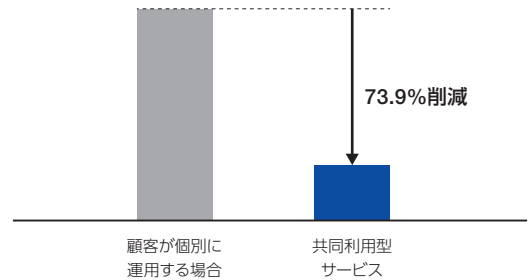
1

「2050年温室効果ガス排出ゼロ」への貢献

共同利用型サービスで、お客様の温室効果ガス排出削減を支援

NRIの主な既存事業の一つである共同利用型サービスは、NRIのデータセンターで稼働するシステムをお客様に共同で利用いただくものです。お客様が個別にシステムを構築・稼働する場合よりも電力消費を抑制でき、温室効果ガス排出削減につながります。NRIの試算によると、共同利用型サービスの利用によりお客様の温室効果ガス排出量を73.9%減少させることが可能です。

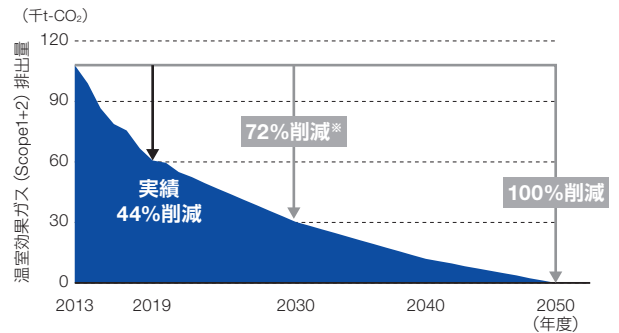
共同利用型サービスによる温室効果ガス排出削減効果



さらに、NRIのデータセンターの電力の再生可能エネルギー化などにより、2050年度までに温室効果ガス排出を実質ゼロへ

NRIでは、環境性能に優れた新しいデータセンターへの移行などを通じ、2019年度時点で44%の温室効果ガス排出削減(2013年度比)を達成しています。今後は、データセンターの電力の再生可能エネルギー化などを進め、環境目標である2030年度までの72%削減\*及び2050年度までに実質排出ゼロを目指します。

NRIの環境目標 (2013年度比)



\*2030年度までの温室効果ガス72%削減

気温上昇を1.5℃に抑えるための目標として、国際的な環境イニシアチブである「Science Based Targets(SBT) イニシアチブ」より認定を受けました。

温室効果ガス削減に向けた取組みの全体像



※NRIサステナビリティ・リンク・ボンド

サステナビリティ・リンク・ボンドとは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標を達成するか否かによって条件が変化する債券です。NRIの環境目標の達成を従来のサステナビリティ・リンク・ボンドとは異なる形で投資家の皆様に応援していただく仕組みを採用して、2021年3月より発行しています。仕組みなどの詳細は以下のURLをご参照ください。

[https://ir.nri.com/jp/ir/news/auto\\_20210319481142/pdfFile.pdf](https://ir.nri.com/jp/ir/news/auto_20210319481142/pdfFile.pdf)

2

## コロナ禍で急増するパート・アルバイトの「実質的失業」

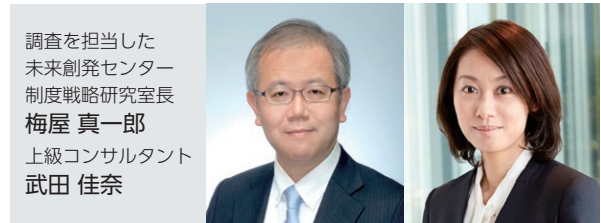
— 速やかな経済的支援と円滑な労働移動支援を提言 —

コロナの影響で、パート・アルバイトの就業状態が、統計に表れている以上に悪化している実態が調査を通じて浮かび上がってきました。全国のパート・アルバイト女性の29.0%が「コロナでシフトが減少」と回答、そのうち45.2%（全体の13.1%）はシフトが5割以上減少したと回答しています（右下図）。

パート・アルバイト就業者のうち、「シフトが5割以上減少」かつ「休業手当を受け取っていない」人を「実質的失業者」と定義し、その数を推計したところ、2021年2月時点で女性103.1万人、男性43.4万人にのぼりました。この「実質的失業者」は、一般的に、統計上の「失業者」にも「休業者」にも含まれません。

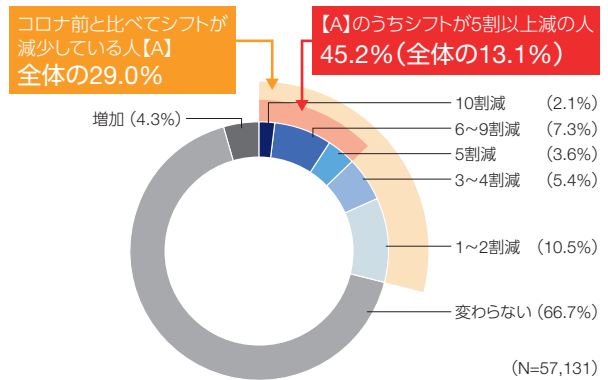
さらに、「実質的失業者」に該当する方の多くが、休業手当を受け取れることを知らなかったり、新しい仕事を探したいと思っていることも明らかになりました。調査結果を踏まえて、経済・社会状況の悪化を未然に防ぐためにも、パート・アルバイト就業者に対する経済的支援の認知・利用促進と、労働移動（転職）を促す支援策の拡充が急務であることを提言しました。

調査の詳細は以下のURLを参照ください。  
[https://www.nri.com/jp/news/newsrelease/1st/2021/cc/0301\\_1](https://www.nri.com/jp/news/newsrelease/1st/2021/cc/0301_1)



調査を担当した  
 未来創発センター  
 制度戦略研究室長  
**梅屋 真一郎**  
 上級コンサルタント  
**武田 佳奈**

コロナ以前と比べたシフトの変化（パート・アルバイト女性）



出所)NRI「パート・アルバイト就業者の実態に関する調査」(2021年2月)

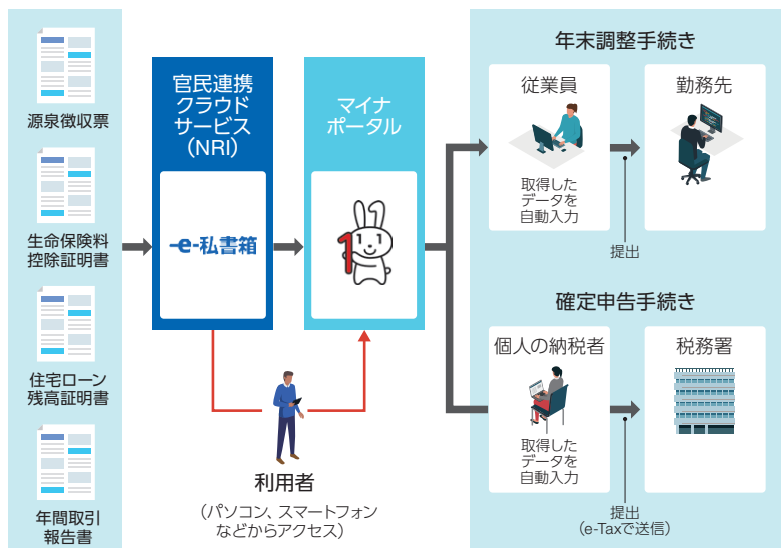
3

## デジタル社会に不可欠なマイナンバーカードの普及を後押し

— マイナンバー関連サービスで手続きの利便性を向上 —

NRIは、新しい社会インフラであるマイナンバーカードを活用したデジタル社会・デジタルガバメントの実現に向けて積極的に取り組んでいます。2021年3月期は、マイナンバーカードを活用した本人確認サービス「e-NINSHO」の提供先が拡大し、本サービスは利用企業/利用件数とも民間最大の実績となっています。また、NRIが提供する「e-私書箱」を利用し、マイナポータルを通じた年末調整・所得税確定申告の生命保険料控除証明書・住宅ローン残高証明書・年間取引報告書の電子化が実現しました。2022年3月期には、これら証明書等の発行機関が倍増するとともに、地震保険料控除証明書・ふるさと納税等へ取扱範囲を拡張します。

「e-私書箱」を利用した税務手続きのイメージ



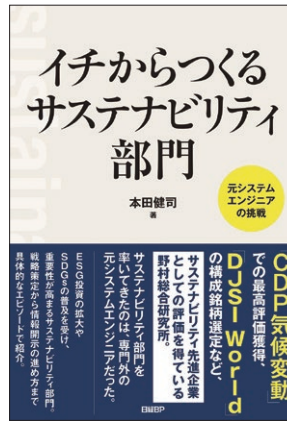


NRIグループ社員による出版物のご紹介



**ITロードマップ2021年版**  
東洋経済新報社 発行  
(2021年3月25日)

DXを成功に導くためには、デジタル技術に対する深い理解が欠かせません。本書では、リモートワークプレイス、スマートロボット、非対面営業ツール、AIとセキュリティなど、ポストコロナ時代に注目される技術を中心に、デジタル技術の動向を5年先まで見越したロードマップとともに解説します。



**イチからつくるサステナビリティ部門**  
日経BP社 発行(2021年4月19日)

サステナビリティに優れた企業に投資するESG投資は拡大しており、多くの企業がその投資対象となるべく対応しています。本書は、そのようなサステナビリティ部門の担当者の方々の実務に役立てていただくことを主眼に、元システムエンジニアの著者がサステナビリティ担当になってからの7年間の奮闘を綴っています。

ディスクロージャー優良企業賞を受賞

NRIは、2020年度の「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、ITサービス・ソフトウェア部門では4年連続12回目の、そして個人投資家向け情報提供部門では初めての、優良企業に選ばれました。

詳細はNRIホームページ(下記URL)の「外部からの評価(受賞等)」をご覧ください。  
<https://www.nri.com/jp/sustainability/evaluations#awards>



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(公告掲載URL <a href="http://pn.nri.com/">http://pn.nri.com/</a> ) ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
配当受領株主 確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 及び特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵送先) (電話照会先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 <b>0120-232-711</b> (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	4307

株式会社野村総合研究所

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2  
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ  
TEL 03-5533-2111 <https://www.nri.com/jp/>



株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取請求



口座を開設されている証券会社へ  
お問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会



三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へ  
お問い合わせください。  
電話照会先は左記をご参照ください。